

「宇和島の方言」と「愛南の方言」の違いについて

～出身中学校ごとの比較を通して～

1年4組 嘉新茉莉花

1年4組 松浦 未優

指導者 教諭 渡部 陽子

1 課題設定の理由

高校に入学し、クラスメイトたちが普段話している会話を聞いて、自分と違うイントネーションであることや、自分の知らない、聞いたことがない方言を使っていることに気が付いた。自分の出身中学校(愛南町)で使っている方言と「宇和島」地域の方言がどのように違うのかを調べてみたいと思った。そこで、出身中学校ごとに使われている方言を調べてみることで、地域の特徴がある程度明らかにではないかと思い、この課題を設定した。

2 仮説

旧南宇和郡と旧宇和島市内、さらには、旧宇和島市内と他の市町でも使われている語彙や言い回しに違いがあるのではないかと、その違いを出身中学校ごとに見ていくことで、地域性が見られるのではないかと考えた。

3 研究・調査の方法

(1) 方法

アンケートを行い、その結果から出身中学校ごとにどのような傾向があるのか、その方言がよく使われる地域とあまり使われない地域の境界線はどこにあるのかを分析する。

(2) 実験対象

宇和島東高校に通っている1年生と南宇和高校に通う1年生

4 結果と考察

(1) 結果

仮定した通り、現在の宇和島市外と旧宇和島市内では大きな違いが見られた。また、旧宇和島市内と愛南町や他の近隣市町でも使われている方言が異なることがわかった。変化が大きく見られる質問の回答を見ると、愛南町とそれ以外の市町との間には、境界線があることが多いという傾向が明らかになった。

【アンケート結果より(抜粋)】

Q 引いた草やゴミを集めるときに使う道具を何というか。

A. てみ B. みじょうけ

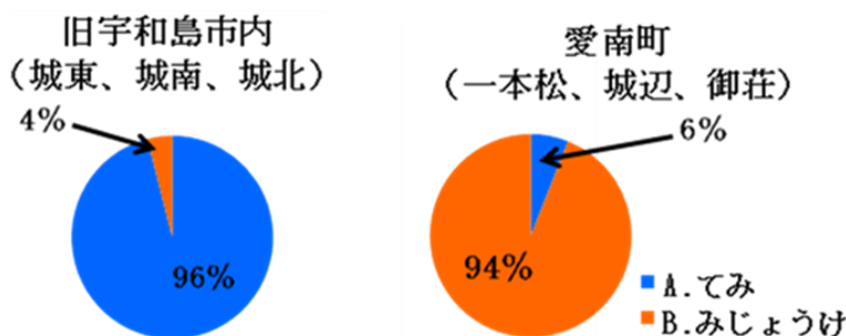


図1: アンケート結果① 「Q 引いた草やゴミを集めるときに使う道具を何というか」

Q 具合が悪いという不具合感を表すときどちらの表現を使うか。

A.ぐつ悪い B.じゅうが悪い

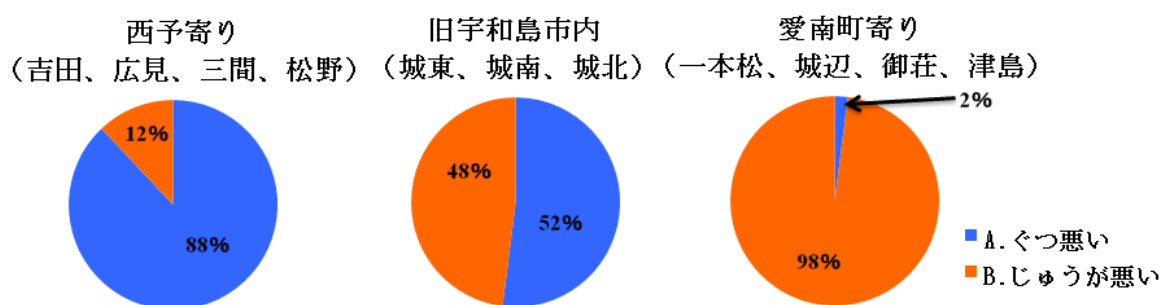


図2: アンケート結果② 「Q 具合が悪いという不具合感を表すときどちらの表現を使うか。」

(2) 考察

アンケート項目①・②の結果から、愛南町とそれ以外の地域では、ものの呼び方が違ったり、不快感を表すことばの使い方が異なっていたりしていることが分かった。このことから、人と人との交流や物流、文化的経済的な地域圏が、愛南町とそれ以外の宇和島圏域とで密接度が異なっているのではないかと考えられる。歴史的にも、地理的、地形的な隔たりが言語的な現象にも影響を及ぼしているのではないかと考えられる。「愛南町と旧宇和島市」、「旧宇和島市と近隣市町」とを比較することで、それぞれの地域の結びつきの違いをアンケートから知ることができた。限定的で、一面的なデータでしか分析できなかったが、具体的な語彙や言い回しをもとに地域の特色や独自性について考える機会を得ることができた。

5 まとめと今後の課題

今後、語彙数や言い回し、アンケートの回答数・対象を変えて研究を深めていくことが大切であると考えている。今回のアンケート調査で「愛南の方言」と「宇和島の方言」の特徴を把握することはできなかった。しかし、南予のことばが「標準語」化してしまう前に調査しておかなければならないのではないかと思う。以前は当たり前のように使用されていた方言が、現在の私たち高校生世代が使用していない、他の世代においても使用されることが少なくなっている傾向がある。古くから伝わるその地域特有の言葉である方言は、私たちの「思い」をより表現しやすいものでもある。生まれ育った地域を大切にするように、方言もまた大切に守っていくことが、次の世代へと豊かな情緒や感性、そして地域の伝統をつないでいくための一歩なのではないだろうか。

参考文献

・新不明解・宇和島語辞典 宇和島方言集 <http://tack7.fc2web.com/kotoba/kotoba02.html>